

「もりのうモチモチ牛 五ツ星」  
～美味しい牛肉はお米から Part 2～

岩手県立盛岡農業高等学校 動物科学科3年  
高橋淳一 苗代澤銀大 新田悠治 三浦快斗

発表概要

岩手県立盛岡農業高等学校は、和牛甲子園に出場し始めて今年で3年目を迎える。初めて出場した第4回大会は先輩方が肥育をゼロから始め、昨年度の第5回大会では岩手のブランド牛の飼養管理を学び、肥育2年目にしてA5とA4という最高の評価を獲得した。

現在、世界情勢の急激な変化により、飼料や燃料などの価格が高騰。経営を圧迫しており、畜産業界はとても厳しい状態となっていて、本校でも昨年より年間約800万円も飼料代が掛かっている。このような中でも高品質の食べて美味しい牛肉の生産を目標に、岩手のブランド牛「紫波もちもち牛」の飼料給与方法を参考にして本校産のもち米、米ぬか、稲わらを取り入れた安全安心な自給飼料を使用した給与メニューの開発を行う。また健康でストレスの少ない飼養環境づくりと牛体管理を目指し、毎日のブラッシングや牛床の改善、ビタミンコントロールや夜間電気点灯試験など、多くの事にチャレンジしながら肥育に取り組んだ。